

とただより 議会



6月定例会

No.174

2012年(平成24年)8月1日

対象年齢を中学生まで拡大

こども医療費通院分

P4

千ヨク気持ちいい!!

「自転車の安全利用について」

意見募集 P6

特集 議会改革の歩み	2
討論、意見書	6
一般質問	7
視察レポート	16
議会モニター提言	18
あの質問はどうなった	19
ほっとコーナー	20

特集

議会改革



9年半の歩み

戸田市議会では、"より開かれた議会"を目指し、平成15年2月6日に"議会改革特別委員会"を設置しました。以来、議会改革について精力的な改革を進めてきました。
"改革列車"の確かな牽引力を感じていただけるでしょうか？



戸田市議会議員信条

「議員は、市民全体の代表者であることを自覚し、市民の福祉向上に専任すること。」

「議員は、二元代表制の趣旨である牽制均衡の原則を良く理解し、執行権への介入や職務を戒めること。」

「議員は、市民の立場で執行機関を監視し、市民のための行政の充実を図ること。」

「議員は、議決機関の一員として専断を審議し、決定すること。が任務であり、あらゆる角度から論議するよう努めること。」

「議員は、市民の信任を受けた公人であり、廉潔を保持し、政治不信を招く行為を厳に戒めること。」

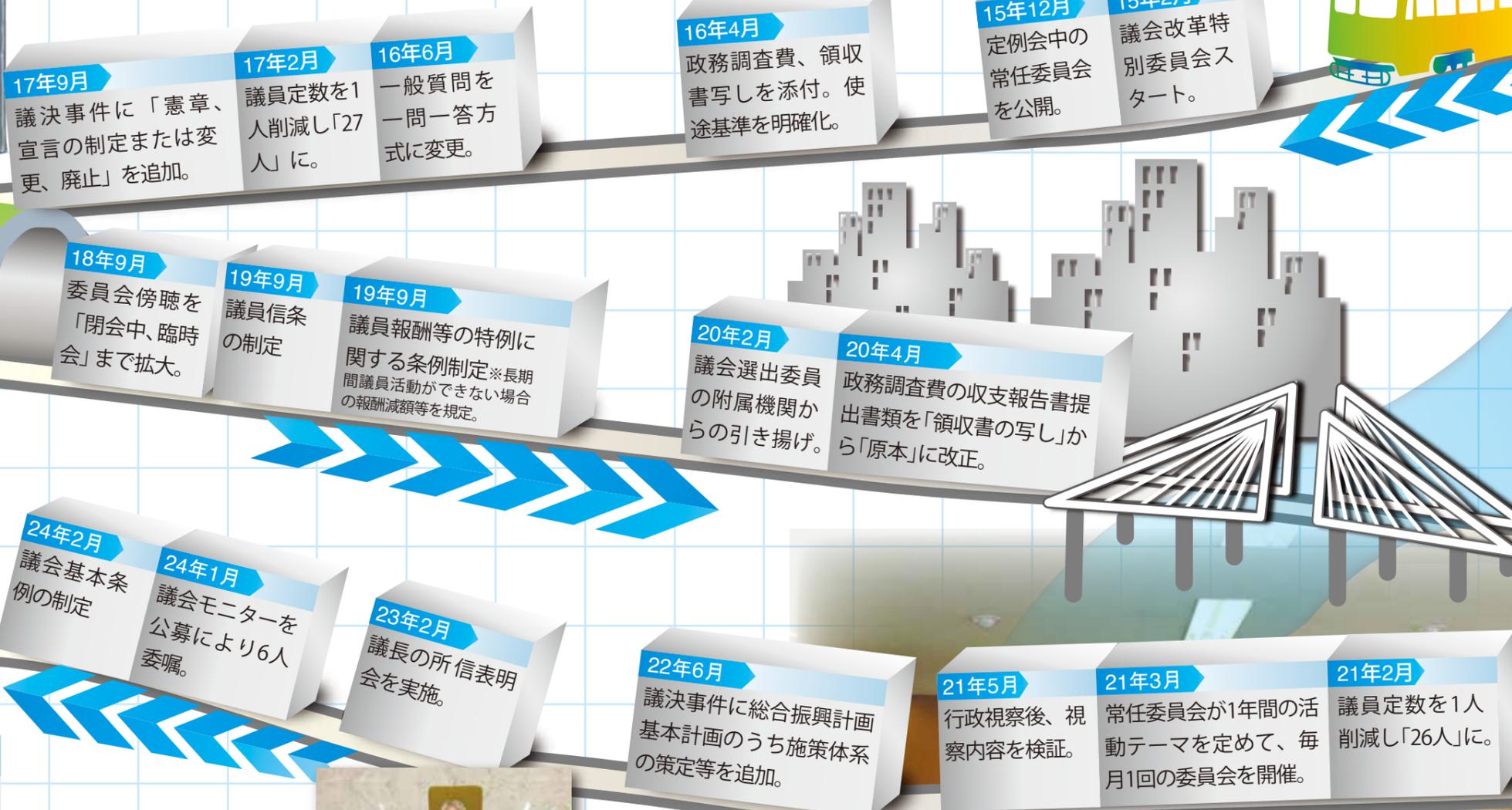
「議員は、法を遵守し、その定めるところにより、寄附行為等について行わないこと。」

「議員は、政治倫理に対する戒念を忘れず、自ら最善な態度をもってその職責に専念し、責任を明らかにすること。」

「議員は、その使命と責任を果たすため、日々研鑽し、高い識見を養うよう努めること。」

平成十九年九月二十七日

埼玉県戸田市議会



18年6月 議会中継をライブ配信



- 現在の検討テーマ
- ・政務調査費
 - ・議会基本条例の運用体制
 - ・通年議会



▲所信表明会（平成23年2月）

▶現在の議会改革特別委員会メンバー



一般会計補正予算(2490万円の増額)の主な事業

主な歳出	金額
①児童手当法の一部を改正する法律に伴うシステム改修委託料	1047万円
②自転車交通安全教育事業及び自転車安全利用環境整備事業に係る経費(注1)	641万円
③(仮称)新曽南コミュニティセンター設置に当たっての基本設計及び実施設計業務委託料(注2)	421万円

(千円単位切り捨て)

(注1) 埼玉県より県内での自転車事故率ワースト1位の戸田市が自転車安全利用重点推進市に指定されたことに伴い、小学校12校で4年生を対象に自転車運転免許取得講習会等を実施する。

(注2) 旧さいたま地方法務局戸田出張所跡地建物の1、2階を、幅広い世代の交流が図れるコミュニティ施設として、平成26年4月の開館を目途に施設を整備する。施設の内容や機能については、公募委員3人を含む市民で構成する検討委員会で検討し、基本設計に反映する。



▲旧さいたま地方法務局戸田出張所跡地建物

永年勤続議員表彰

毎年、全国市議会議長会の定期総会において、地方自治に永年貢献された市議会議員に対して表彰が行われます。
24年度は、本市議会から4名の議員が15年表彰を受賞されました。
なお、中名生隆議員は同表彰を辞退いたしました。



岡崎郁子議員



栗原隆司議員



山崎雅俊議員



秋元良夫議員

対象年齢を 中学生まで拡大

こども医療費
通院分

平成24年
6月
定例会

6月4日～
6月22日



6月定例会は、6月4日から22日までの19日間の会期で開かれ、15件の議案等が提案され、いずれも可決・承認しました。
また、4日間にわたる一般質問では、17人の議員が活発な論戦を展開しました。
最終日には議員提出・委員会提出議案として3件の意見書が提案され、いずれも可決しました。(P6参照)
請願3件は多数決により不採択となりました。

主な議案の概要

【条例】

◎こども医療費条例の一部改正

こども医療費の助成割合及び対象年齢を拡大するもので、平成25年1月からは中学生まで通院・入院費が無料化されるものです。

周知については、市広報11月号にこども医療費の特集記事を掲載し、こども医療対象者に対しては、新たな受給資格者証と利用案内書を12月中に各家庭に郵送いたします。

◎こどもの国条例を廃止する条例

こどもの国の老朽化に伴う施設の建て替えに当たり、本年12月25日に閉館するものです。

新たな施設は、平成25年度着工、26年度内の開設を目指します。

暑中お見舞い
申し上げます

平成24年 盛夏

戸田市議会議員一同



▲6月28日、喜沢小3年生の児童が議場見学に訪れました。

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会から一般質問の日程を4日間にして、6月11日、12日、13日、14日にかけて、17人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。



とだがききたい

議員 本市にとって水害は何より問題である。備蓄品倉庫を上層階に移動しなければならぬと考えるが、どうか。
総務部長 福祉保健センターの上層階を確保するとともに、今後新たに公共施設を建設する際には上層階にス



▲中町多目的広場

水害対策

備蓄品倉庫を上層階に

「確保するよう協議する」



議員 防災無線は、いまだに聞こえにくい。非常時に備えるには都合が悪いが、今後の対応は、

総務部長 防災行政無線のデジタル化や増設を進める。

市内の交番

議員 中町多目的広場の交番開設は、地域住民にとっては大きな安心であるが、反面、閉鎖となる地域への細やかな説明が不足ではないか。

富岡節子議員

ペースを確保するよう協議する。

その他の質問

Q 中町多目的広場内ボール広場の利用時間延長を要望する。
A 周辺住民とも調整しながら、検討する。

市民生活部長 住民説明会を開催し、統合後における強化対策を御理解いただき、警戒活動とパトロールの強化対策を実施していく。笹目地区においては、現在の交番は築40年以上と古く、老朽化が進んでいるため、県の交番再編の動きを注視していく。

市民生活常任委員会では 自転車の安全利用についてのご意見を募集しております。



を募集しております。

自転車は、健康増進に役立ち、環境にやさしいことから、その利用が見直されているところではありますが、その一方で、自転車に関係する交通事故が増加しており、全国的な問題となっています。戸田市も例外ではなく、県内市町村の中でも、自転車事故の発生率が高い状況にあります。

そこで、市民生活常任委員会では年間活動テーマを「安心・安全のまちづくりに向けた自転車条例について」と定め、自転車の安全利用に関する条例の制定に向けて、活発な委員会活動を行っているところです。

自転車の安全利用に関して、ご意見等がございましたら、ぜひお寄せください。

宛先 議会事務局

郵送：〒335-8588 戸田市上戸田1-18-1

FAX：433-2212

電子メール：gikaijimu@city.toda.saitama.jp

締切日：8月31日(金)まで



▲自転車交通安全教室の様子

※パブリック・コメントは別途実施いたします。

討論

今定例会では、請願1件に対して討論を行いました。

賛成 国民への負担増を新たに強いる「社会保障・税一体改革案」に反対し、社会保障の充実、改善を求める請願

花井 伸子議員
財源の考え方を「応能負担」にせよ

今国会に政府が提案した「社会保障と税の一体改革案」は、6月20日に3党合意した修正案が提出されたが、国会では審議されておらず、議会制民主主義を蹂躪する暴挙である。日本共産党は対案として、税金の無駄遣いを正すこと、不公平な税制を正し、富裕層・大企業に応分の負担をしてもらうこと、さらに、所得税の累進課税の強化で、消費税増税に頼らず、社会保障を充実し、財政危機の打開を行うことができる。

と考え、「提言」を発表した。財源の考え方を「応能負担」に切りかえることを求め、本請願に賛成する。

反対 山崎 雅俊議員
一日も早い「社会保障と税一体改革」の実現を

今後、我が国は、超高齢化社会により社会保障費の急騰が見込まれ、社会保障財政は破綻の危機に瀕している。「社会保障と税」の問題については、さらなる行財政改革などによる、より一層の無駄の排除などに取り組みながら、「消費税を含む税」と「社会保障」について、一体として考えるべきである。一日も早い「社会保障と税一体改革」の実現を切に要望し、採択に反対する。

意見書(議員提出・委員会提出議案)を国及び政府に提出

◆「防災・減災ニユール」による社会基盤再構築を求める意見書
防災・減災対策としての公共事業を、緊急かつ集中的に行い、経済の活性化や雇用創出に資する防災対策の実施を、強く求めるものです。

◆このころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書
すべての国民を対象とした、このころの健康についての総合的で長期的な政策を保障する基本法の制定を、強く求めるものです。

◆年金受給資格期間の10年への短縮を求める意見書
無年金者を多くしている原因の一つである長すぎる受給資格期間の短縮を速やかに実現するよう要請するものです。

いか。また、笹目地区は下戸田地区に比べて侵入・窃盗など犯罪件数が多いが、抑止力となり得る交番が必要ではないか。

上戸田福祉センター

跡地を屋根付き広場に

「市民の意見聞きながら検討」



山崎雅俊 議員

田保育園の跡地を屋根付き広場にしたいか

議員 移転予定の上戸田福祉センターと上戸

がか。

少し先の話だけでなく市民の要望がかなうように

福祉部長 上戸田福祉センター及び上戸田保育園の跡地については、上戸田福祉センター再整備基本計画の建設地となる上戸田ふれあい広場の代替地として整備することを考えている。現在、上戸田ふれあい広場は市民の憩いの場となっており、ゲートボールや運動会、お祭りなど、各種イベントや市民活動等に利用



▲天瀬屋根付き運動広場（大分県日田市）

されている。地元町会を初め各種活動団体からは、現在の活動ができるようにしてほしいという声が多く寄せられている。今後、市民の意見を聞きながら、総合的に検討していきたい。

間の使用も可能になり、今までの多様な利用が可能となる。災害時の一時避難場所としても利用可能なことなどから、ぜひ、今後の検討の中に入れてほしい。

手塚 静枝 議員

学校や体育館の天井や壁などの耐震化急げ

「計画に沿って進める」



議員 学校や体育館の天井や照明器具・壁な

防災対策



▲天井の部材が大量に落下した学校体育館 ※東日本大震災・長野県栄村（提供：財団法人消防科学総合センター）

どの非構造部材の耐震化を早急に進めたいのか。議員 学校施設の非構造部材の点検及び地震対策については、「維持保全改修計画」に沿って、順次耐震化を進めていく。議員 火災や地震などの初

期活動に機動力を発揮する「消防バイク」を導入してはどうか。消防長 震災発生時に情報収集する車両として消防バイクを活用することは有効と考える。調査研究していく。

総務部長 多くの人が一斉に参加ができる訓練は、非常に有効であると考え。埼玉県とも協議し検討していく。議員 子どもを危険から守るために、いま一度、通学路に危険や盲点はないか点検し、より一層の安全対策を強

化しなければならぬ。その安全確保と対策は、学校での安全教育は。議員 教員や保護者、地域からの報告や情報をもとに危険個所の緊急対応、改善計画、通学路の変更などをし、安全確保に努めている。児童生徒の発達段階に応じ、安全教育を実施している。

国民健康保険

税・医療費自己負担分の軽減を

「実情を十分に聞き適正に対応」



花井伸子 議員

災害等により当該年度において所得が皆無とな

議員 ①戸田市国民健康保険条例第20条には、

なったため生活が著しく困難となった者、ま

たはこれに準ずると認められる者は税を減免することができる。減免のとなつては、減免の実施を②国民健康保険法第44条には、医療費の一部負担の減免が規定されている。困窮する市民への実質的運用がされていない。対象者へ運用するべき。福祉部長 ①②納税者の負担能力を個々に判断し、ケースごとに実

情を十分に聞き、慎重かつ適正に対応する。高齢者福祉の充実を議員 高齢者は、年金が減り続ける中で、負担は増え続けている。①入院中の高齢者へ、紙おむつ代の助成を②通院タクシー券の交付を。福祉部長 ①②現時点では助成は難しいと考



▶北戸田駅の待合室

その他の質問 Q 駅環境の整備促進として、駐輪場ラックの改善、通路の滑り止め、ホーム待合室の設置を。A ラックは研究する。滑り止め対策、待合室整備も検討に入っている。工事時期は未定だが、順次整備を行うとJRから回答があった。

本田 哲 議員

本村橋南側に歩道橋設置を

「橋梁長寿命化計画の中で検討」



議員 日も早く本村橋南側に歩道橋設置を

行って、通行者の安全確保を図るべきである。

都市整備部長 歩行者の安全対策として、本村橋下流側への歩道橋設置は有効な手段であると認識している。今

後、策定する「橋梁長寿命化修繕計画」の中



▲歩道橋がなく車道を通るしかない市民

議員 橋の寿命を延ばすことと通行者の安全を確保することは別問題。「橋梁長寿命化修繕計画」とは別に、通行者の安全確保の観点から、日も早く、歩道橋設置や架け替えの検討を行うよう要望する。議員 橋の寿命を延ばすことと通行者の安全を確保することは別問題。「橋梁長寿命化修繕計画」とは別に、通行者の安全確保の観点から、日も早く、歩道橋設置や架け替えの検討を行うよう要望する。議員 収税推進室の相談窓口には「給与差し

差し押さえのみを強調する掲示物の撤去を議員 差し押さえのみを強調し、納税者に偏った情報しか与えない掲示物は、すぐ

に撤去すべきである。財務部長 掲示物の撤去はできないが、その内容を含め検討をする。議員 掲示物の内容の検討ではなく撤去すべきである。また、掲示物の有無に関わらず、納税相談者にとって必要な制度は、しっかりと説明を行うことを要望する。



交通安全対策



都市整備部長 旧耐震基準の木造住宅は4430戸あるが、平成17年からの利用は耐震診

耐震診断・耐震改修を推進する必要がある。



減災対策

耐震診断・耐震改修の促進を

「財政面を踏まえて充実したい」

議員 大地震の被害を最小限にするためには、耐震診断・耐震改修を推進する必要がある。

防災隣組で

議員 震災時、高齢者障害者など災害時要援護者の救助・避難などの対策は。

総務部長 福祉部関係課で個々に管理している災害時要援護者の情報を一元化し、地図情報を作成し、年度内を目途に自主防災会に配布したい。また、荒川破堤時に備えたワークシヨップにおいて「お

ねがい会員」「まかせて会員」の募集を行っており、地域内で避難の支援を希望する方を近所の方が助けるという防災隣組の考え方を広く啓発する。

洪水時の避難計画は

議員 荒川の堤防が決壊した場合、全市が水没するが、避難計画は。

総務部長 「避難準備情報」等を発令した場合は、できる限り早期に、北方面の高台等へ避難するように市民に呼びかけている。

議員 北方面と言われなくても市民は、どこに行ったらよいかわからない。具体的な避難場所を決めてほしい。

総務部長 必要があれば関係市との協議を検討したい。



議員 市の自転車事故発生率が2年続けて

県内ワースト1位となった。事故をどう抑えるかは、第一にルール遵守とマナーアップの改善にあり、最も効果的な改善策は警察の街頭指導と思うが。

市民生活部長 同様の

多発防止に運転モラルの改善が必要

「蕨警察と協力して進めたい」

議員 認識を持っている。4月1日に施行された「県自転車条例」を背景とし、蕨警察と協力して街頭指導を展開したい。

議員 飲酒運転、夜間不点灯、右側走行等々自転車にも罰金が決められている。それらの周知・啓発を進めるべきでは。

議員 小学校での自転車交通安全教室は重要な教育の一つだ。従来の年間2校を、来年度以降、全校に拡大し実施すべきだ。

市民生活部長 そのよ



▲注意と譲り合いの心で事故は減らせます

うに実施したい。

公園入口に注意表示を

議員 児童の出入りが多い公園の入り口付近に、通行車両や自転車に注意を喚起する表示を設けてはどうか。

市民生活部長 現地調査を行い、設置に向けて検討する。

その他の質問

Q 市役所南通り上戸田郵便局付近の路上駐車対策として文化会館駐車場の有料化を。

A 文化会館と協議し年度内に方向性を決定。

一般質問

収税行政

納税相談では市民の生活実態を聞け

岡寄 郁子 議員

「聞くよう指導する」



議員 国税徴収法や地方税法では、病気や失業、収入減のときには、納税の「猶予申請」ができる。また、税金を払うと生活していけないほど困窮する人には、徴収「停止」措置がある。しかし戸田市ではきちんと行われていない。猶予申請を市

が拒否したり、差し押さえて生活保護基準以下になった人もいる。法に基づいた対応をすべきではないか。

財務部長 法律は理解している。猶予申請は1年以内に滞納分を完納する計画が提出された場合に受け付けている。

議員 それは法律の要件にはなく、行き過ぎ



▲安心して相談できる市役所に(収税推進室)

3歳未満の障がい児も保育園受け入れを

議員 障がい児保育の年齢制限を撤廃すべき。

子ども青少年部長 年齢要件等の緩和について、早急の実施できるように検討する。

だ。猶予や停止の条件に合うか、納税者の生活実態を聞くべきではないか。

財務部長 実態を聞くよう指導する。

議員 消費者庁の機器貸与が決まった。概要は。

市民生活部長 9月末までに機器が入る。男女共同参画センターに設置し、市民の持ち込みを一日4点まで受け付ける。



議員 埼玉県は平成20年3月に「埼玉県消防広域化推進計画」を策定。川口市・蕨市・旧鳩ヶ谷市と本市で消防広域化の組み合わせが示された。県より本市に働きかけがあったと思うが、どう対応をしたのか。

た場合の財政面や消防力、消防体制の今後のあり方を市民サービス第一に考え検討した。その結果、県の示した枠組みの広域化にはメリットが少なくことから、広域化する考えのないことを県に対して表明した。

議員 メリットがないと判断した理由は。

消防長 「初動体制の強化が必ずしも図ることができない」「各市の消防車両の充足率が

馬場 栄一郎 議員

県からの働きかけにどう対応したか

「メリット少なく、不参加を表明」



▶消防本部通信指令室

議員 大会等がある場合、駐車場の運用はどのようになっているか。

市民生活部長 平成23年度は、327件の大会が開催されている。大会利用の場合、長時間駐車する可能性が高く、臨時駐車場を利用していただく。

スポーツセンター駐車場運営について

※阪神・淡路大震災 (提供:財団法人消防科学総合センター)



一般質問

情報過疎

視覚障害者への代筆
代読介助の普及推進を

「支援の充実に向け検討」

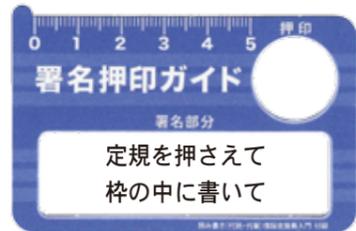


鈴木麗子議員

議員 障害者自立支援法の一部改正が行われ、今後、介護保険と同様の全障がい者のケアプ

出先での介護ヘルパーによる情報提供や介助が盛り込まれているが、本市の同行援護サービスへの取り組みはどうか。この他、東日本大震災被害の反省から、防災や防犯等の情報提供の充実も新規に掲げる内容となっている。今後、視覚障がい者が居宅で受ける家事援助サービスにおいて、介助者による新聞や郵便物の整理・お知らせ

▼目が見えなくてもサインと押印はできる



(株) 大活字発行のサインガイド

やすい情報提供に努めるとともに研修等含め支援の充実を検討したい。

すべての受験生に入学準備金利用の機会を

議員 公立進学者の中でも市立高校入学には一定の入学金納入が発生するが、利用受付期間の延長で対応はできないか。

教育部長 受験前より申請可能だが、審査期間等手続を考慮し検討。

三浦芳一議員

橋梁・上下水道の耐震化を計画的に促進せよ

「老朽化の調査で適切に維持管理」



議員 災害時にはライフラインの確保が重要

である。戸田市の道路、橋は大丈夫か。上下水道管の耐震化はどうか。大災害時に備えたインフラ整備を計画的に促進せよ。また、「川岸地区密集市街地」の改善を急げ。

ライフライン

上下水道部長 老朽化



水道の耐震管布設状況

の調査を行い、適切な維持管理に努め、耐震

都市整備部長 71橋の健全度調査は今年度ですべて完了。「川岸地区密集市街地」の改善は平成30年の事業完了を目指す。

犯罪の撲滅を図れ

議員 振り込め詐欺やひったくり事件等の被害が多発している。しっかりとした防犯対

策で犯罪撲滅を図れ。

市民生活部長 平成23年度中の実被害は振り込め詐欺6件、ひったくり48件、自転車盗561件、車上狙い181件、オートバイ盗116件、浸入盗110件。犯罪発生件数は減少しているが、今後も委託警備員の犯罪防止パトロール、警察官OBの青色回転灯装備車両による「目で見せて、音

その他の質問

Q 胃がん対策にピロリ菌検査の導入を。

A 情報収集に努め、国の動向に注意する。

Q 深夜帯の荒川土手で花火対策を図れ。

A 防犯パトロールと警察との連携で対処。

液状化対策

危険度マップを作成して市民に公表を

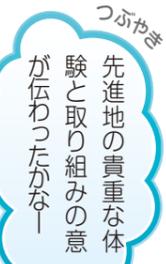
「先進地の情報を集め対応」

中名生隆議員



議員 震度6強の揺れが起こり、市内全域で液状化

議員 東京湾北部地震の発生で、戸田市では



が発生する可能性がある」と国の防災会議で公

神谷雄三議員

大災害発生前に備えるべきことがある

「候補地選定など準備を進める」



議員 今市は防災計画の新たな策定に向けて

業している。その中で応急仮設住宅については3公園以外は発災後の課題としている。主に県の仕事ではあるが、大災害時には市が主体的にやらなければならぬ事態もある。国土交通省は東日本大震災の反省のもと、市

町村に仮設住宅について事前に準備すべき課題を挙げています。まずは候補地の面積、所有者、取り付け道路、排水など、幾つも調査すべき項目がある。どう取り組むのか。

常時からの準備について検討を進める。



▲液状化の跡 能登半島地震・輪島市 (提供: 財団法人消防科学総合センター)

求めるべきである。

総務部長 公共工事で得た地盤調査結果の公開、液状化対策検討委員会の設置等、先進市の動向を調査研究し、検討していく。民間住宅液状化対策補償制度は、制度の動向を注視し、国に要望していく。

防災行政無線について

議員 災害時に音声が生室内にいても聞こえる

総務部長 2層化などの住戸形式はもとより、建物の配置、バリアフリー化など、市としての考え方を事前に検討しておくことにより、有事の際に速やかに対応できるよう準備を進めていく。

その他の質問

Q 住民サービスの品質確保に国際標準規格の認証を受け

A 研究していく。



▲コンテナを使った3階建ての仮設住宅 (宮城県女川町)



慢性腎臓病（CKD）の予防と治療
（提供：一般社団法人愛知県腎臓病協会）

慢性腎臓病

CKD予防対策で、生活習慣改善を早急に

「保健システム改良と啓発に務める」

CKDは自覚症状がなく、加齢も原因でこわい



議員 慢性腎臓病の推定患者は、8人に1人。尿蛋白とクレアチニン検査を利用した、保健指導によるCKD予防対策をしてはどうか。

福祉部長 腎機能が6割以下か、蛋白尿など腎障害が3カ月以上続く状態がCKDで、戸田は、1万人前後と推計。心臓や血管の病気を起こす危険性は約3倍といわれ、悪化すれば腎不全に陥り、人工透析や腎移植が必要で、対策の重要性は認識。福祉保健センターでは、特定健診データを保健システムに取込み、保健指導を実施しているが、メタボに特化している。来年度入れ替え時にCKDの対応ができるよう準備を進める。

斎藤直子議員

議員 システム改良までに行けることは。

福祉部長 禁煙、減量、減塩、バランスのとれた食事が腎臓の負担を軽減するため、栄養教室や健康講座等を実施。今後はCKDを強調した内容に工夫する。市民から相談があれば、保健士や管理栄養士が、個別に対応を。また、ホームページや広報、チラシなどで周知を図り、腎機能検査の数値がわかる人には、判定の早見表など掲載していく。

その他の質問

Q 永久歯のはえない子供の対応は。

A かかりつけ医で定期健診を促進。

Q キャラクターによるシテイ戦略は。

A 市制50周年記念事業で検討。

一般質問

家庭ごみ

夜間収集で諸問題の解決を

「本市、他市の状況を検討する」

自治体経営もアイデア勝負の時代です



議員 ① 夕食後ごみを出せば、夜中に収集されるために昼間のまち

遠藤英樹議員
の美観が保たれる②カラスに生ごみを散らかされる心配がなくなる③寝る前までにごみが出せるため、ごみの出し遅れが減る④子供の飛び出しが少なくなる⑤交通事故等も未然に防げる⑥交通量や人通りが少ないため収集作業の効率上がる⑦朝の通勤通学時には歩道や道路上にごみがなくなため、歩道を歩く人や通勤の車に支障がなくなる⑧ごみ収集が夜間パトロールにもなり、防犯にも役立つ利点があり、福岡市等で行われているごみの夜間収集についてどう考えるか。



ごみの夜間収集（福岡県福岡市）

市民生活部長 蔵市、衛生センターとの協議調整も必要となり、今後、調査研究していく。
わがまち特例税制
議員 平成24年度税制改正に登場した地域決定型地方税制特例措置、通称わがまち特例税制は将来の自治体の自由な税制度設計に道を開く改正の一つ。市としてはどのような対応を考えているか。
財務部長 国の動向を注視し、本市に関連するものについては検討していく。
議員 これからは税収もアイデアを振り絞り、地方の状況に応じた設計をしていく時代。待っているだけではだめなので、努力を惜しまないでほしい。

市民に直接影響する。市の担当者として、関心が薄いのは無責任である。

保育園の使用済みおむつの対処法は危険

議員 戸田市の公立保育園では、うんちやおしっこがついた使用済みの紙おむつを保護者が持ち帰る規則になっている（私立園の大多数は園で処理）。不便である上、衛生管理上も国のガイドラインに沿わない状態が放置されており、危険である。園での処分を切り替えるとともに、病原性大腸菌やノロ・ロタウイルスなど病原体の感染予防を再検証願いたい。

子ども青少年部長 衛生管理は適正に行っているが、質問の点は公立園のサービスマニュアルの参考としたい。



ノロウイルスは不十分な汚物処理で容易に集団感染します

他人事のような答弁です



議員 外部団体の運営に不備がある。例えば国際交流協会は規約どおりの運営がなされておらず、また2億円以上の基金は、もとは市民の税金でありながら、現在は協会のものとなる。

酒井郁郎議員

内部統制が不十分である

「確立していると認識」

議員 協会は厳密な意味で市の支配下にある団体ではないが、その原資は市から出ており、また事業は市の国際交流事業として、市

外郭団体

委員会視察レポート

総務委員会

兵庫県尼崎市／兵庫県西宮市

地域の防災力向上を目指し、様々な取り組みを実施

尼崎市では、阪神・淡路大震災や東日本大震災を踏まえ、津波避難ビルの追加指定や、地域住民と学校が連携した地域防災訓練を実施しています。また、自主防災会向けの防災力向上講座などにより、地域の防災力向上を図っていました。

学校の先生にも参加してもらい、地域の問題点を共有する啓発活動を考えていました。また、地域防災計画を見直す際に、職員行動マニュアルをチェック形式とするなど、工夫をしていました。

西宮市では、地域住民の防災対策として、自主防災組織を対象とした参加型訓練などを実施する際に、小・中

両市の取り組みの中で、コミュニケーションによる災害情報発信や避難ビルの確保、地域防災計画の重複部分の

整理統合、マニュアルのチェック形式化など、当市でも参考としたい部分がありました。



5月9日 西宮市役所にて

文教・建設委員会

大阪府堺市／京都府宇治市

利用者層の拡大に向けた電子書籍提供サービス

堺市立中央図書館は、利用者層を広げるため、電子書籍提供サービスを開始しました。24時間365日、いつでも貸し出しができ、問題集の貸し出しが可能になりました。

【意見・感想】

堺市の電子書籍提供サービスは、著作権の問題によるコンテンツ不足など、効果がすぐに見えにくいものの、文字の拡大・音声読み上げ機能は大変有効であると感じました。

宇治市では、景観行政と屋外広告物行政の一体性を高めるため、屋外広告物条例を施行し、広告物の形やデザインを変更した場合の許可制度を定めました。

宇治市の屋外広告物条例は、市民や事業者に意識を持ってもらうための条例であり、著しく景観を乱す広告物



5月16日 堺市立中央図書館にて

閉会中に実施した視察について、6月4日の本会議冒頭に各委員長から報告がありました。その概要は次のとおりです。

については規制する必要があると感じました。

健康福祉委員会

福岡県北九州市／広島県呉市／京都府京都市

地域共通診察券1枚で、どこでも受診可能な社会の構築に向けて

①北九州市の総合保健福祉センターの福祉用具プラザでは、介護や福祉の用具に関する適切な普及啓発のため、用具を展示し、介護福祉士等の専門職が、相談に応じておりました。②呉市では、医療の質を落とさずに、患者自身の負担を減らし、医療費の適正化を図るため、ジェネリック医薬品に切りかえた場合の自己負担分の削減可能額を記載した通知を発送しておりました。③京都医療センターが中心となり、京都市など4市1町で導入されている「地域共通診察券」は、地域内の対応

医療機関であれば、どこでも共通の診察券として利用でき、これまでのように何枚もの診察券を持ち歩く必要がなくなると同時に、薬手帳や医療費明細書、検査結果などを自分自身で簡単に安全管理することができ

【意見・感想】

視察に関する意見や感想は、次のとおりです。①本市の福祉保健センター内のスペースを利



用して、介護や福祉の用具に関する普及啓発活動を行ってはどうか
②医療費の適正化を図るため、ジェネリック医薬品使用促進通知の実施を本市においても検討してはどうか
③地域共通診察券は、市民福祉の向上に有益の取り組みであり、調査研究を進めたい。

戸田 太郎 様

5月8日「総合保健福祉センター（福祉用具プラザ）」（北九州市）にて

市民生活委員会

京都府亀岡市／京都府京都市

地域性を反映させた自転車条例づくり

亀岡市では、外傷予防の観点から、安心安全なまちづくりを進めるセーフコミュニティ活動に取り組んでおり、市内6つの自治会をモデル地区に指定し、地域の実情に応じた施策を実施するなど、地域住民との協働により、多様な活動を展開して

協働によるまちづくりといった観点からも有効であると感じました。京都市では、議員提出議案として、京都市自転車安心安全条例が制定されており、レンタサイクル業者への自転車損害保険加入の努力義務や、商店街では、必要に応じて自転車の押し歩きを求めするなど、

観光のまち・京都を反



4月13日 京都市役所にて

映した条例となっておりました。同様の条例制定を目指す委員会としては、条例の構成や制定過程等が大変参考になりました。

議員の寄附禁止のルール

贈らない!

議員がイベント等で寄附をすること。

求めない!

有権者や町会等各種団体が議員に寄附を要求すること。

受け取らない!

議員が寄附を持ってきても有権者や町会等各種団体は受け取らないこと。



ケース 10 戸田市政策研究所

議員：調査研究の委託費用で年間 8000 万円程度使っている。その予算で、本市らしいシンクタンクを設置し、地方分権時代の自治体間競争を勝ち抜いていくべきである。(平成 18 年 9 月 定例会一般質問)

こたえ

総合政策部長：あるべき姿から戦略を立てるシンクタンクの設置について、組織改正の中で検討する。

そして



自立した都市経営を行い、都市間競争に勝つためには、政策形成力の向上が不可欠な要素になることから、平成 20 年度の組織改正において、戸田市政策研究所を開設いたしました。

《研究所の成果の行方》

研究所の研究成果には、市長への提言、判断を経て、実際に担当課で実施されるものも多く生まれています。

例：シティセールスに関する研究から実施までの流れ

1. 政策研究所にて、基礎研究を実施
2. 「シティセールス戦略」を策定
3. 市長への提言と、市長による実施の判断
4. シティセールス戦略の実施（各担当課）
 - ・情報発信力強化プロジェクト（SNS 等）
 - ・フィルムコミッション設立プロジェクト
 - ・都市イメージ強化プロジェクト など

シティセールス戦略：

<http://www.city.toda.saitama.jp/6/5291.html>

●フィルムコミッションロケ地
(彩湖・道満グリーンパーク)



●ツイッターやフェイスブック等 SNS を利用した情報発信。



●地域資源を活かした
都市イメージ発信



あれから〇年！ あの質問はどうなった？

一般質問も、質問して、それきりとなるわけではありませぬ。担当部局で慎重に調査・研究し、実現に至らなかつたもの、成果が早く出てくるもの、10年・20年後に大輪の花を咲かせるものなど……。

議会運営委員会

大分県佐伯市／大分県大分市

『議会モニター活動』 の充実に向けて

佐伯市議会では、本市と同様に「議会モニター制度」を実施しておりますが、本市と異なる点は、公募によるモニターのほか、地域課題等に公平・公正な立場で取り組んでいる各種団体の代表者にも議会モニターになってもらっていることです。

【意見・感想】
佐伯市議会では、専門的見識を持った市民の声を聞くため、団体モニターを活用していましたが、本市でも参考にしたいと思いました。

大分市議会では、議会の政策形成機能を充実させるため、議員全員による「議員政策研究会」を設置し、議会基本条例や子ども条例を制定して取り組みました。また、議会改革を推進するとともに、議会運営等が議会基本条例の規定に沿って行われているかを確認するため、「議会活性化推進会議」を設置して取り組みました。



▶ 4月27日 大分市役所にて

議会モニターからの提言

公募した議会モニターの方々は、本年1月1日から1年間、活動をしていただいておりますが、その中で提出されました提言等につきまして、戸田市議会の検討結果をお知らせいたします。

今後も、議会運営等に関して、市民目線での要望、提言その他の意見を広くお聴きし、議会運営に反映していきたいと考えております。

提言等の要旨	検討結果
委員会において、聞き取りにくい場面があったことから、委員会室にコードレスマイクを準備し、いつでも使用できる状態にしていきたい。	発言は、傍聴者にもわかりやすく聞き取りやすい口調で話すようにいたします。 なお、現在、委員会室へのマイクなどの音響設備の設置は、予算措置の関係から予定しておりません。
「とだ議会だより」に紙面を確保して、市民に常任委員会の活動を公開するべきである。	「とだ議会だより」3月定例会号に、平成 23 年の常任委員会の年間活動成果を、各常任委員会 1 ページずつ掲載いたしました。
傍聴券に「市民憲章」を記載することにより、傍聴者とともに市民憲章を確認することができ、戸田市民としての再認識が図れる。	9月定例会より、本会議の傍聴券の裏に、「市民憲章」を掲載いたします。
議会モニターあてに、①施政方針、②発言通告一覧を送付してはどうか。	①施政方針については、施政方針当日に、議員に配付され、市ホームページに掲載される予定となっておりますので、市ホームページでごらんいただきたいと考えています。 ②発言通告一覧については、すべての発言通告が議会ホームページに掲載された時点で、議会モニターにその旨をメールにてお知らせいたします。

議会日誌

4月

- ◎ 6日 県議事会会計監査・監事会
- ◎ 10日 一区議長会会計監査
- ◎ 11日 議会広報委員会/議会改革特別委員会
- ◎ 12日~13日 市民生活委員会行政視察
- ◎ 13日 県南都市問題協議会会計監査
- ◎ 16日 市民生活委員会
- ◎ 17日 議員互助会役員会
- ◎ 18日 議会広報委員会/総務委員会/文教・建設委員会健康福祉委員会
- ◎ 19日 一区議長会総会
- ◎ 20日 県南都市問題協議会正副会長会議・役員会
- ◎ 24日 県議事会役員会・総会
- ◎ 25日 関東議長会総会/大分県大分市議会視察来庁
- ◎ 26日~27日 議会運営委員会視察

5月

- ◎ 2日 藤戸田衛生センター組合議会運営委員会
- ◎ 8日~9日 総務委員会行政視察
- ◎ 8日~10日 健康福祉委員会行政視察
- ◎ 9日 市民生活委員会
- ◎ 10日 文教・建設委員会市内視察/福岡県太宰府市議会視察来庁
- ◎ 11日 議会広報研修会/宮崎県都城市議会視察来庁
- ◎ 14日 健康福祉委員会/議会改革特別委員会
- ◎ 15日 千葉県八街市議会視察来庁/藤戸田衛生センター組合議会
- ◎ 16日 総務委員会/市民生活委員会
- ◎ 16日~17日 文教・建設委員会行政視察
- ◎ 17日 鹿児島県指宿市議会視察来庁
- ◎ 18日 議員互助会役員会
- ◎ 22日~23日 議会広報委員会視察
- ◎ 23日 全国市議会議長会総会
- ◎ 25日 県議事会役員会
- ◎ 28日 議会広報委員会/議会運営委員会/総務委員会文教・建設委員会/健康福祉委員会/市民生活委員会
- ◎ 29日 県南都市問題協議会総会・研修会

6月

- ◎ 4日 本会議(議案説明)/議会運営委員会
- ◎ 8日 本会議(議案質疑)/議会広報委員会
- ◎ 11日~14日 本会議(一般質問)
- ◎ 14日 議会運営委員会
- ◎ 15日 総務委員会/文教・建設委員会/健康福祉委員会市民生活委員会
- ◎ 18日 交通対策特別委員会/議会改革特別委員会議会運営委員会
- ◎ 19日 市民生活委員会
- ◎ 22日 本会議(委員長報告、討論、採決)/議員互助会役員会
- ◎ 26日 健康福祉委員会市内視察/市民生活委員会
- ◎ 27日 議員互助会厚生事業
- ◎ 29日 戸田競艇組合議会運営委員会/山形県酒田市議会視察来庁

戸田市政策研究所についての視察が増えています。

題字を書ってくれた人



字の形と、一文字一文字に気持ちを込めて書きました。これからも書道を頑張って書いていきたいです。

新曾中学校 1年 須田 大輝さん

議会広報委員会 視察報告

～岩手県雫石町/秋田県美郷町～

本音を「チョットひとりごと」として掲載

優良賞を受賞した「しづくしい議会だより」の特徴は①横書き②一般質問の顔写真のところにも本音を「チョットひとりごと」として掲載③表紙写真は町内在住のセミプロに撮影してもらっていることなどです。優秀賞を受賞した「みさと議会だより」の特徴は①手にとって読んでもらえるように、表紙には町のフォトコンクール最優秀賞作品を使うなど一番いいものを採用②表紙にメイン記事の

見出しを大きく載せる③文章を削るだけ削って余白を確保していることなどです。

視察を検証した結果、今定例会号から、①表紙にメイン記事の見出しを載せる②表紙写真に短い説明見出しをつける③つぶやき、本音などの吹き出しも、質問者の選択で採用できることといたしました。



▲美郷町の議会広報特別委員会委員と一緒に

定例会の予定

9月

8月30日	本会議	議案説明
9月5日	本会議	質疑
6日	本会議	一般質問
7日	本会議	一般質問
11日	本会議	一般質問
12日	委員会	
13日	委員会	
14日	委員会	
18日	委員会	
19日	委員会	
26日	本会議	討論・採決

※日程は変更になる場合があります。議会事務局にお問い合わせください。
議会事務局 ☎ 0441-18000 (内線5260・5244・543)



ことしも節電の夏。熱中症にならないように、体調に十分気をつけてお過ごしください。

間

もなく64歳。生活習慣病の総合商社である。先日、主治医から、飲んでよい酒と悪い酒について説明あり。ビール、日本酒はNG。焼酎、ワイン、ウイスキーはGだそう。飲める酒があつてよかったが、深酒には気をつけねば！ (一)

3

・11を境に、自分の意識の中で、自然災害の恐ろしいニュースや、中学生の自殺事件の話を聞くと、これからの子供たちは大変だなーと思いました。孫との会話中に、なぜか元気になってきました。 (ト)

笹

の葉さらさら、軒端に揺れる。七夕が近づくと切なくなる。4年前の7月5日、僕にとって、家族にとって大切な人をなくした。彼女は子宮がんだった。本人はもろろん、周りの人たちのために、これからもがんばります。 (♀)

今

年の緑のカーテンは、ぶどう(マスカット、ベリーA)の苗でチャレンジ！うまく育つか心配ですが、夢は大きく、いつか戸田ブランドのワインをつくるのを目標に頑張るぞ!! (直)

表紙写真の説明

チョ～気持ちいい！……今年も子どもの国のプールが7月1日にオープンしました。初日から幼稚園児たちの歓声が飛び交い、思わず一緒に遊びたくなくなりました。